

北陸地方整備局
伏木富山港湾事務所

記者発表資料

令和8年9月18日

同時発表：魚津市

魚津港で大規模地震を想定した物資輸送訓練を実施します

～魚津港で初、港湾施設の利用可否判断訓練を実施～

この度、地震発生時における海上からの支援物資輸送等を想定した防災訓練を、魚津港（北地区）において実施します。本訓練は、漁業関係者、みなとオアシス運営者、業界団体関係者及び行政関係者で構成される魚津市「命のみなとネットワーク」推進協議会が実施する4回目の防災訓練です。

今回の訓練では、例年実施している支援物資輸送訓練や航路啓開訓練に加え、令和8年熊本地震の際にも実施された港湾施設の利用可否判断に関する訓練（施設健全性確認訓練）を、専門家を招いて初めて実施し、災害時における港湾機能の確保に向けた対応力の向上を図ります。

1. 日 時 令和8年9月30日（水） 10時15分から11時50分まで
2. 訓練会場 魚津港 北地区（富山県魚津市本新 魚津おさかなランド裏手の岸壁付近）
3. 訓練内容 情報伝達訓練、施設点検訓練、施設健全性確認訓練、航路啓開訓練、支援物資輸送訓練
4. 参加者 魚津市、魚津漁業協同組合、（株）魚津シーサイドプラザ、富山県港湾建設協会、富山県、北陸地方整備局、伏木海上保安部、下中島地区自主防災協議会、北陸電力（株）、（国研）港湾空港技術研究所

※詳細は別紙1のとおり

○ 取材について

取材を希望される方は、魚津市 産業建設部 農林水産課 水産振興係へ別紙2によりお申し込みください。（TEL 0765-23-1033）

※当日の天候や海象により中止する場合があります。中止の場合はご連絡しますので、事前のお申し込みをお願いいたします。

発表記者クラブ

富山県政記者クラブ
専 門 紙

問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局
伏木富山港湾事務所
副所長 山川（やまかわ）
専門官 岡本（おかもと）
TEL 076-441-1901

○ 被災想定

跡津川（あとつがわ）断層帯を震源とするマグニチュード 7.9 の地震が発生し、魚津市で震度 6 強の強い揺れが観測され、陸路が被災したとの想定。

○ 訓練次第

- ・ 開会（魚津市長（協議会会長）挨拶、来賓挨拶）
- ・ 情報伝達訓練
- ・ ドローンによる施設点検訓練 ※当日の天候等により中止する場合があります。
（飛行調査 ～ 施設確認）
- ・ 港湾業務艇「なごかぜ」による航路啓開訓練
（離岸 ～ 港内海底調査）
- ・ 港湾施設の健全性確認訓練
- ・ 巡視艇「たちかぜ」及び漁船「睦丸（むつまる）」による支援物資輸送訓練
（沖合待機 ～ 入港・接岸 ～ 荷下ろし ～ 車両への積込・運搬）
- ・ 閉会（北陸地方整備局副局長講評）

○ 参加者

【魚津市「命のみなとネットワーク」推進協議会 構成員】

魚津市

魚津漁業協同組合

株式会社 魚津シーサイドプラザ

富山県港湾建設協会（株式会社 関口組）

富山県 危機管理局、富山県 土木部、富山県 土木部 新川土木センター

国土交通省 北陸地方整備局

国土交通省 北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所

【協力機関・団体】

下中島地区自主防災協議会、第九管区伏木海上保安部、北陸電力株式会社

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

○ 訓練会場 魚津港（北地区）5 号耐震強化岸壁及び 11 号物揚場付近



【参考資料】

〈参考1〉港湾施設の利用可否判断について

港湾施設の利用可否判断とは、地震発生後に実施する岸壁等の施設点検により得られた施設の変位量や損傷状況等を基に、支援船舶の受入や支援物資の荷揚げに利用可能な港湾施設を判断するものです。令和8年熊本地震では、地震により被災した八代港において国による岸壁等の利用可否判断が実施され、利用可能と判断された岸壁では、地震発生翌日から支援船舶の受入が行われました。

〈参考2〉港湾業務艇「なごかぜ」

港湾業務艇とは、港湾工事の監督業務や防災業務、港の調査測量など、多目的に使用する船です。当所所有の「なごかぜ」は、伏木富山港を拠点にこれらの任務に就いています。



全長：16.20m
幅：4.20m
総トン数：19ト
最大速力：21.8ノット（40.4km/h）

〈参考3〉「命のみなとネットワーク」について

（国土交通省HP 令和4年9月22日 報道・公表資料より）

「命のみなとネットワーク」について

別紙1  国土交通省

- 近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことのない豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生。
- 陸路が寸断し孤立化した被災地において、緊急物資や救援部隊、被災者等の海上輸送の事例が増えつつある。
- こうした状況を踏まえ、“みなと”の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めていく。

「命のみなとネットワーク」の主な機能

【支援物資輸送拠点】



【被災者の救援輸送拠点】



【生活支援拠点】



「命のみなとネットワーク」形成に向けた取組

【国土交通省・市町村等による防災訓練の実施】

“みなと”を活用した物資輸送や被災者輸送等の防災訓練を定期的を実施。



R3年10月に浜名港で実施した、船舶を活用した緊急物資輸送・被災者輸送訓練

【「命のみなとネットワーク」の形成に向けて～“みなと”を活用した災害支援事例集ver1～の作成】

“みなと”を活用した災害対応支援を行った過去事例をまとめたもの。



〈参考４〉魚津市「命のみなとネットワーク」推進協議会について

上記施策の趣旨を踏まえ、魚津市における「港湾・漁港」の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを形成することを目的に、令和５年２月２８日に立ち上げ。

会 長：魚津市 市長

副会長：魚津漁業協同組合 代表理事組合長

事務局：国土交通省 北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所

構成機関・団体

：魚津市、魚津漁業協同組合、（株）魚津シーサイドプラザ、富山県港湾建設協会
富山県危機管理局、富山県土木部、富山県土木部新川土木センター、
国土交通省北陸地方整備局伏木富山港湾事務所

取 材 申 込 書

取材を希望する場合は、E-mail 又は F A X でお申し込みください。

E-mail : norinsuisan@city. uozu. lg. jp

F A X : 0 7 6 5 - 2 3 - 1 0 5 3

申し込み締切は 9 月 2 5 日（金） 1 7 時 0 0 分までです。

※申込期日に間に合わない場合は、取材ができない場合があります。

所属クラブ（所属するクラブに○を付けてください）
・ 富山県政記者クラブ ・ 専門紙
会社名及び部署名
取材者 役職・氏名（全員の役職氏名を記載願います）
①（代表者） _____
② _____
③ _____
連絡先（代表者の連絡先）
注意事項
受付時間： 8 時 3 0 分から 1 7 時 0 0 分まで （ 9 月 3 0 日（水）は訓練会場にお越し願います。） ※取材中は、身分証明書、自社腕章を必ず着用し、担当者の指示に従ってください。

上記のとおり、取材を申し込みます。

魚津市 産業建設部 農林水産課 水産振興係あて